

主催：文部科学省 脳科学研究戦略推進プログラム

脳プロ公開 シンポジウム IN 名古屋

分子が生み出す心のしくみ
最新テクノロジーから脳機能を司る分子・遺伝子に迫る

2013年9月14日(土) デザインホール (ナディアパーク3階)

アンケート調査報告書



文部科学省 脳科学研究戦略推進プログラム「脳プロ公開シンポジウム in NAGOYA」
『分子が生み出す心のしくみ－最新テクノロジーから脳機能を司る分子・遺伝子に迫る－』
アンケート調査報告書

【調査目的】

『脳プロ公開シンポジウム in NAGOYA』に対する参加者の印象や評価を調査し、
今後のシンポジウム・アウトリーチイベント開催の参考とするため。

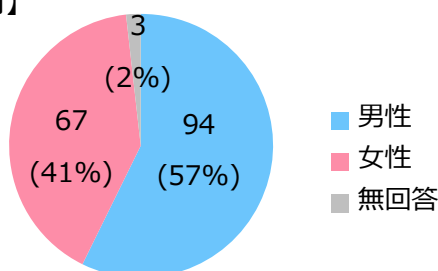
【アンケート対象者】

本イベント参加者251名にアンケートを配布。うち164名から回答を得た。（回収率65.3%）

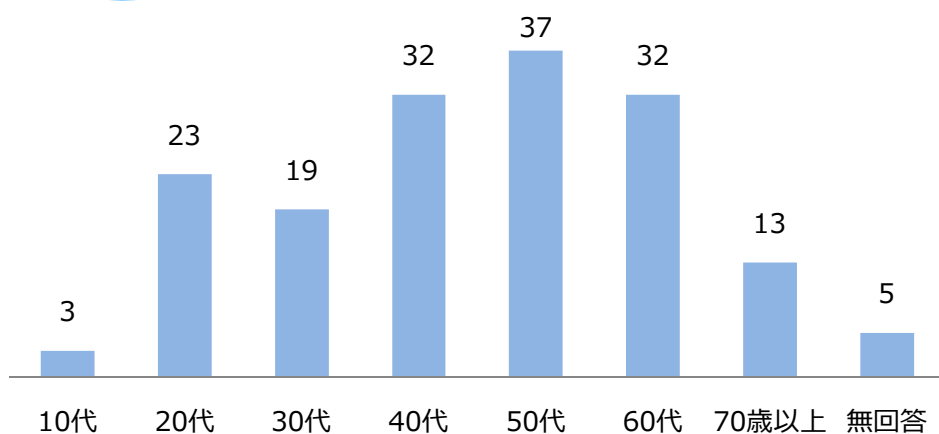
※当日会場で回収したものを対象としています。

【性別】

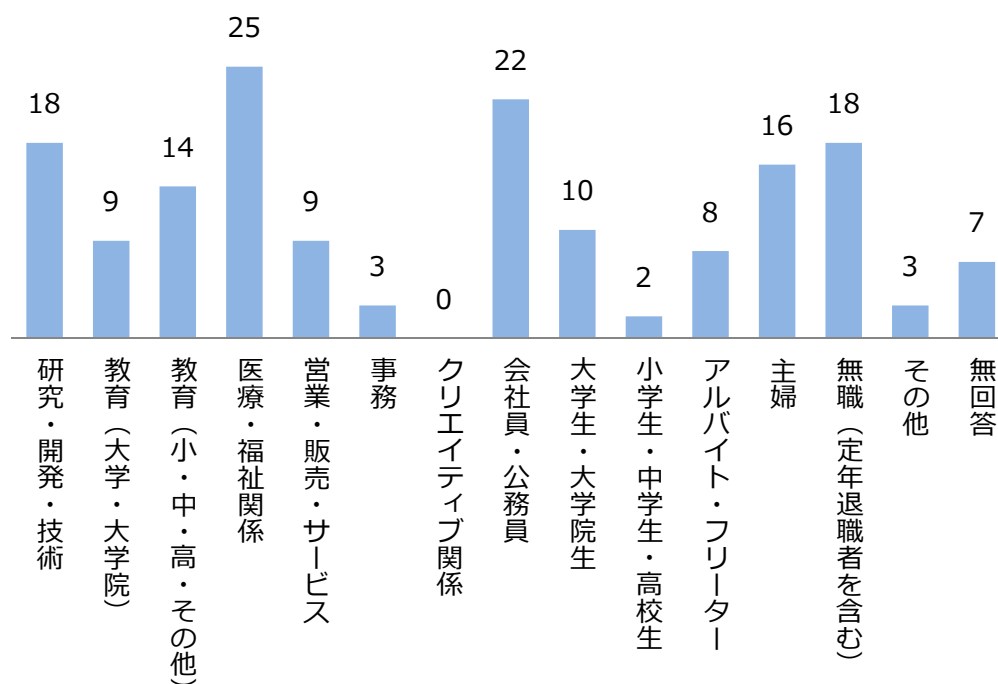
（単位:人）



【年齢】



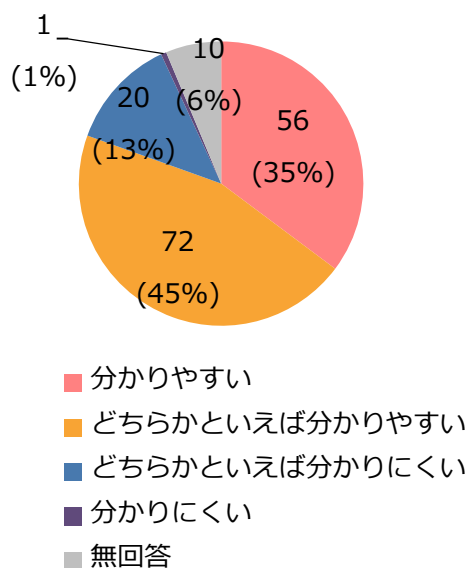
【職業】



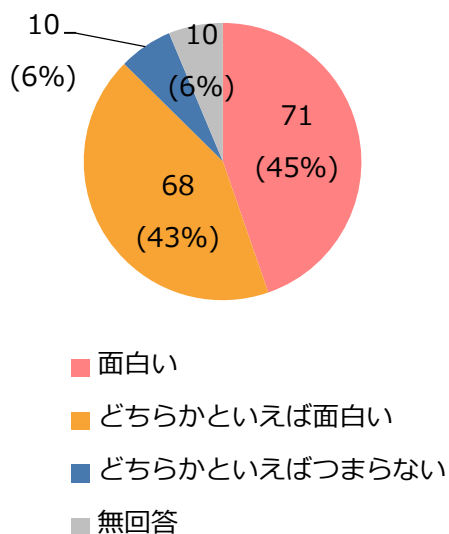
【アンケート結果】

1. シンポジウムの内容について（シンポジウム参加者のみ回答）

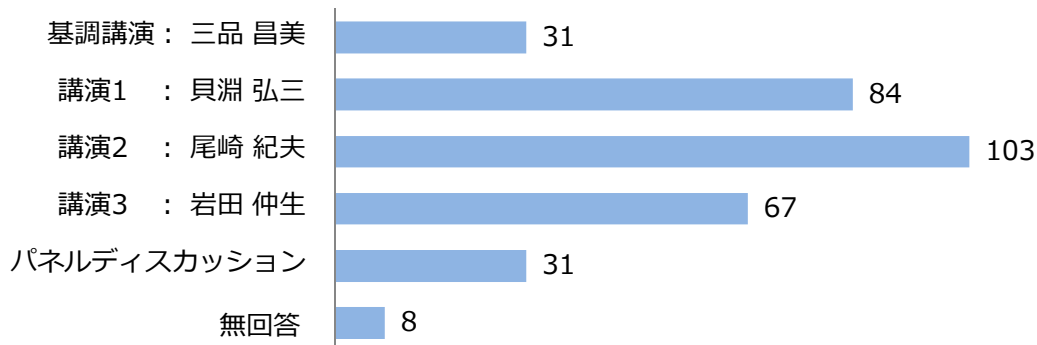
a. 分かりやすかったですか？



b. 面白かったですか？



c. 特に印象に残った内容がありましたか？（複数回答可）



基調講演：「分子レベルからの解明が進む脳と心」 三品 昌美

講演1：「脳内モノアミンが心を生み出すしくみ」 貝淵 弘三

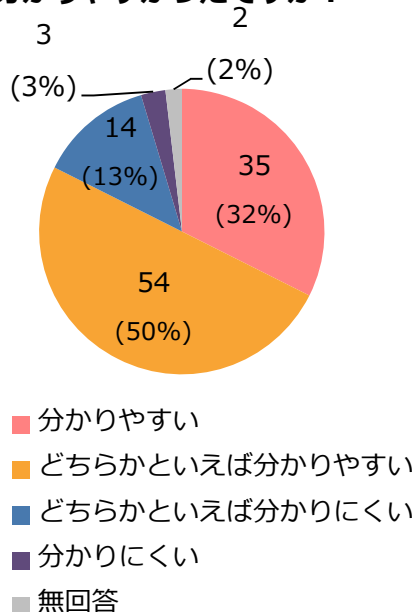
講演2：「統合失調症について知って頂きたいこと」 尾崎 紀夫

講演3：「双極性障害の原因を探る：ゲノム研究の側面から」 岩田 仲生

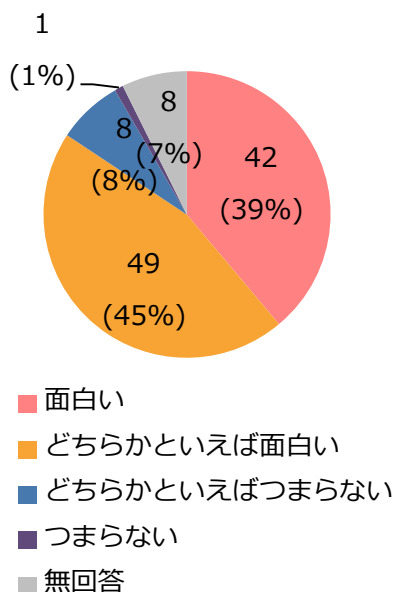
パネルディスカッション：「脳科学研究で心を探る：精神疾患の克服に向けて」

2. 体験展示の内容について（体験展示参加者のみ回答）

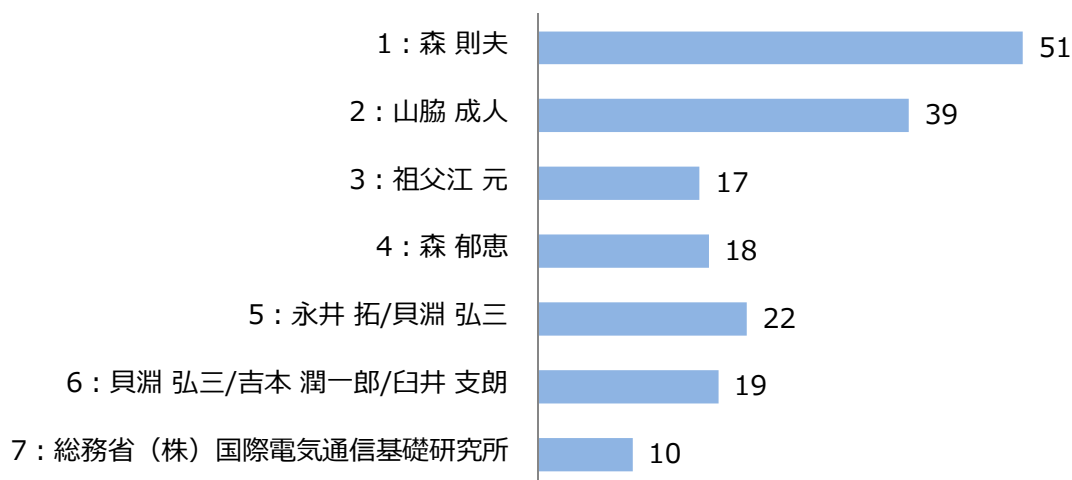
a. 分かりやすかったですか？



b. 興味深かったですか？

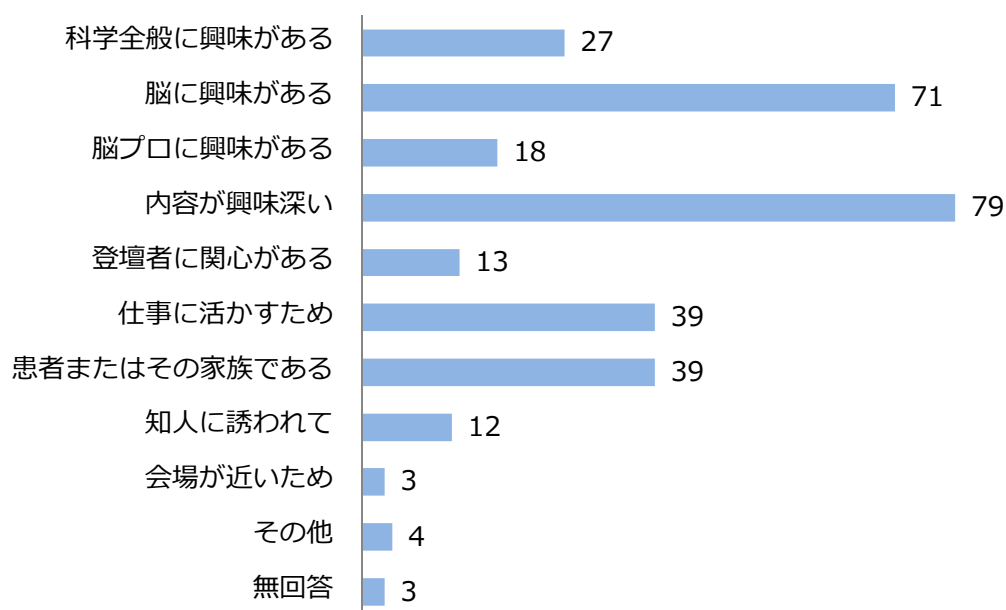


c. 特に印象に残った展示はありますか？（複数回答可）

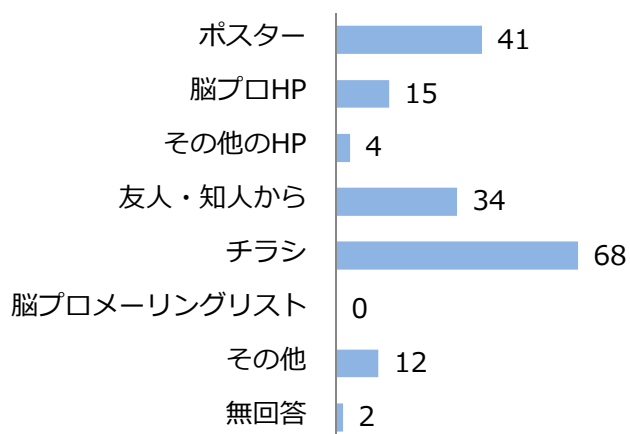


- 1: 「発達障がい診断補助装置<GazeFinder>の開発」 森 則夫
 2: 「ニューロイメージングで抑うつ気分と意欲の低下を可視化する」 山脇 成人
 3: 「前頭側頭葉変性症（FTLD）の病態解明と治療法開発に向けて」 祖父江 元
 4: 「線虫C.elegansの報酬依存的学習行動におけるモノアミン制御機構の解明」 森 郁恵
 5: 「マウスを使って情動行動を評価する」 永井 拓/貝淵 弘三
 6: 「脳科学研究を支える情報基盤の構築：リン酸化プロテオミクスデータベース」 貝淵 弘三/吉本 潤一郎/臼井 支朗
 7: 「日常生活支援を目指すネットワーク型ブレイン・マシン・インターフェース」 総務省

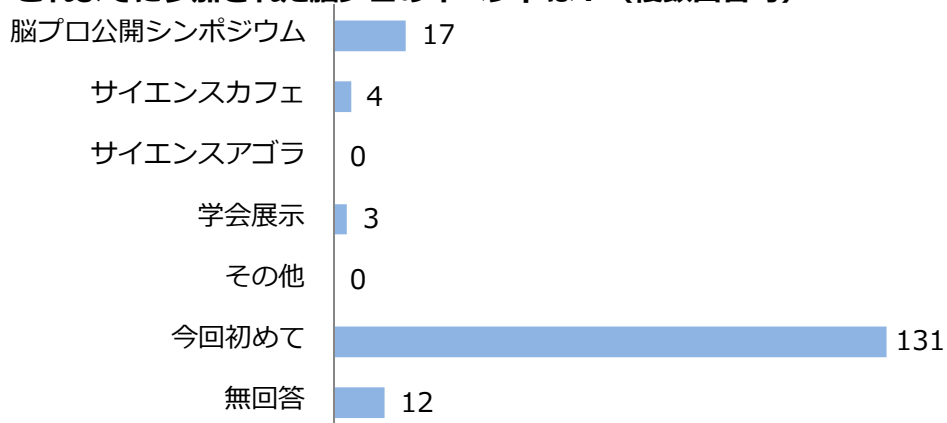
3. シンポジウムに参加された動機は？（複数回答可）



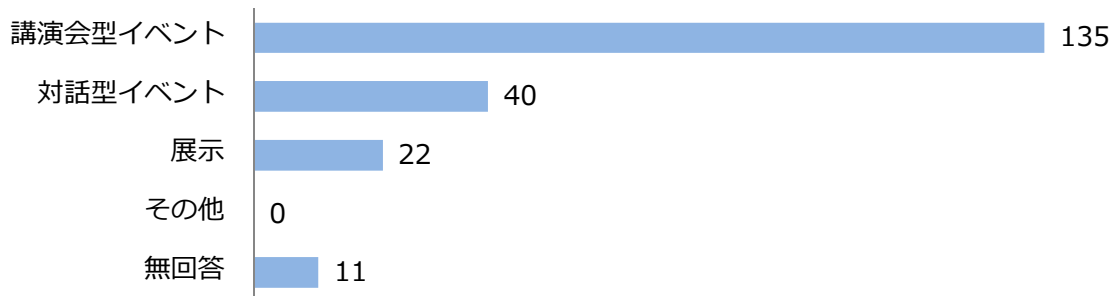
4. 本シンポジウムをどちらでお知りになりましたか？（複数回答可）



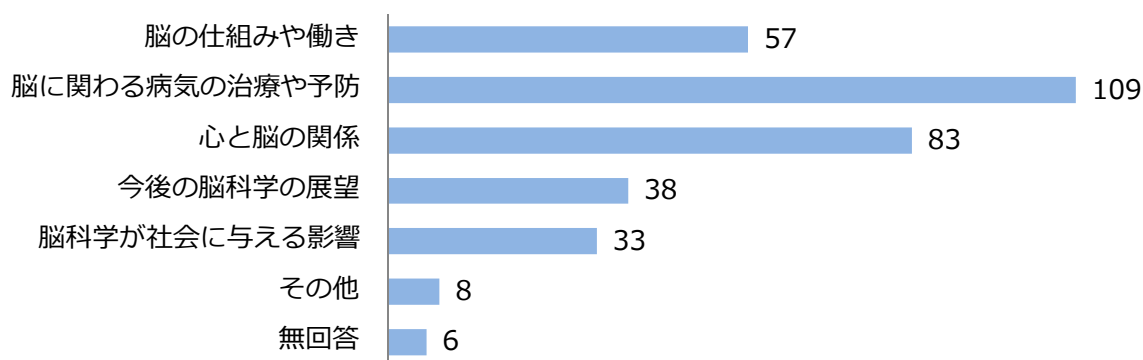
5. これまでに参加された脳プロのイベントは？（複数回答可）



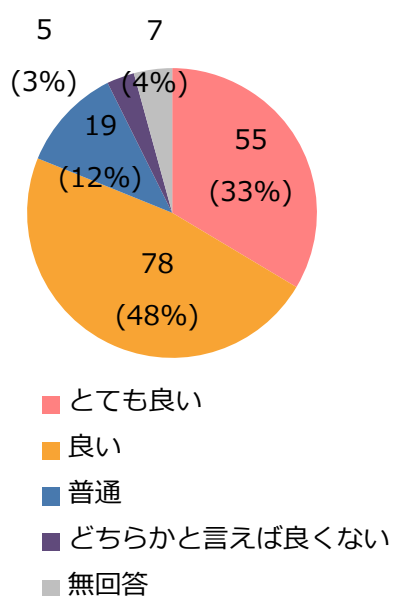
6. 今後、どのようなイベントに参加してみたいですか？（複数回答可）



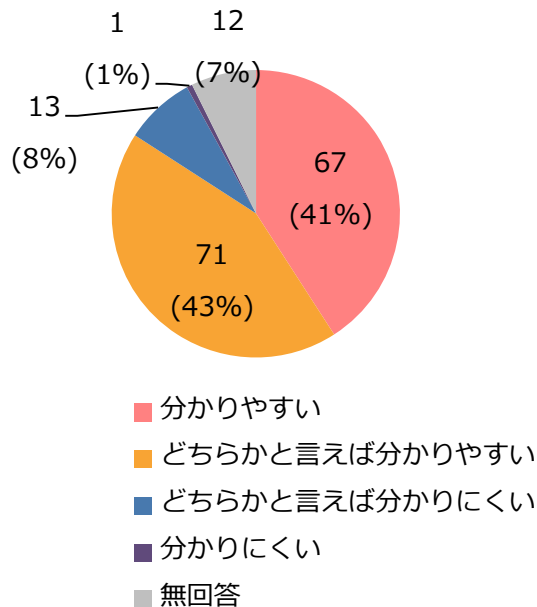
7. 今後、どのような内容の講演を聞いてみたいですか？（複数回答可）



8. 会場はいかがでしたか？
（立地・広さ・設備・雰囲気等）



9. 当日配布したプログラム（抄録）は
分かりやすかったですか？



（以上）